

# 平成20、21年度 中期目標の達成状況報告書

平成22年6月  
奈良教育大学

# 目 次

## I. 中期目標の達成状況

- 1 教育に関する目標の達成状況…………… 1
- 2 研究に関する目標の達成状況…………… 7
- 3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況…………… 9

## II. 「改善を要する点」についての改善状況…………… 11

## I. 中期目標の達成状況

## 1 教育に関する目標の達成状況

中項目	1 教育の成果に関する目標		
-----	---------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	【学士課程】学士課程全体を通して、幅広く深い教養と、基礎的な専門的知識・技能を習得させる。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	【ウエイト】【学士課程】教科の教育に関する基礎的知識と技能等を習得させるとともに、わかる授業や適切な生徒指導ができ、子どもの学ぶ意欲を高める豊かな人間性を備えた、教育の理論と実践が統合された専門的能力を有した教員を養成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	【学士課程】社会の多様な変化に対応した学際的分野で、専門基礎を身につけ、積極的に活躍する人材を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	【大学院】学校教育の高度化と多様化に応えるため、教育に関する諸科学の理論と実践を教授研究し、教育実践を視野に入れた、より高度な専門的力量をもった高度専門職業人としての教員及び教育者の養成をめざす。また、現職教員に対する大学院教育の一層の充実を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画4-1	理論と実践の統合された、より高度な研究能力と教育実践力の獲得を図るために、修士課程に課程共通科目及び専攻共通科目を設置する。現職教員に対しては、高度な専門的力量の向上、得意分野における専門的知識・技能の深化及び教育実践力の向上を図るため、実践事例を取り上げた教育内容を充実させる。		平成20年度に大学院教育学研究科に教職開発専攻(教職大学院)を設置した。同専攻の教育課程の内容は、授業科目や学問領域ではなく、「獲得したい能力目標」及び「目指すべき教師像」を基に履修できるように構成された。方法としては、継続・発展的な実習に加え、理論と実践とを繋ぐために、アクションリサーチ、ポートフォリオ、ケース・スタディ、授業省察の4つのフィールドベースの演習科目を用意している。このことにより、現職教員に対する教育において、より実践的な能力を育成する大学院教育が可能となった。
計画4-3	教育目標に照らした教育成果の検証を行うこととし、在学生、修了生及び修了生の勤務先等の関係者を対象に調査を行う。		平成20年度より、修了予定者を対象として、本学が修了時まで獲得すべき資質能力として設定した達成目標の達成度についての自己評価アンケートを実施した。この結果、5段階評価における達成度3以上の肯定的な回答が、総計で、平成20年度においては、80.8%(4以上は46.7%)、平成21年度では、86.7%(4以上は46.2%)といずれも高い数値となっている。 (別添資料4-3-1, 1p)

中項目	2 教育内容等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	【学士課程】自ら学ぼうとする積極的な意欲、物事を多面的に捉えることのできる幅広い基礎学力を備えていることを基本とする。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目2	小項目	【学士課程】教育理念や教育目標に即した、教育課程の見直しと改善を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目3	小項目	【学士課程】課題解決能力、コミュニケーション能力等を高めるとともに、自主的・主体的な学習を促す授業形態や学習方法を推進する。小規模大学、少人数教育の利点を生かした授業方法の活用を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目4	小項目	【学士課程】授業の目的を明示し、明確な評価基準にもとづく成績評価を実施する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
計画8-1	[ウエイト] 学習到達度の把握に努めるとともに、成績評価基準のガイドラインの作成等、適切な成績評価を実施し、履修登録単位制度及びGPAの改善充実を図る。	平成21年3月に制定(平成21年6月に一部改定)した「成績評価に関する申合せ」において、成績の評価方法等を定めるとともに、学生が成績評価に関する疑問点等について相談を申し入れることが出来る条項を設けた(別添資料8-1-1, 2p)。 また、平成21年6月に「成績評価の相談に関する取扱いについて」を制定し、授業担当教員による相談受付と、疑問点が解消しない場合の副学長(教育担当)による対応等、具体的な相談の取り扱いについて定めた(別添資料8-1-2, 3p)。	

小項目番号	小項目5	小項目	<b>【大学院】</b> 学士課程教育で修得した専門的知識・技能を定着させるとともに、教育に関する問題意識と研究への意志及び自己向上意欲を備えていることを基本とする。現職教員にあっては、教育実践に内在する課題意識とその解決への意欲を有することを基本とする。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	<b>【大学院】</b> 高度専門職業人養成及び現職教員研修の視点を踏まえた教育内容の充実を図り、系統的カリキュラムを編成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7	小項目	<b>【大学院】</b> 教育に関する専門的知識・技能の定着とその応用、教材開発及び教育実践分析等に関する力量形成に寄与する、学習者参加型の授業形態、学習方法を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目8	小項目	<b>【大学院】</b> 授業の目的を明示し、明確な評価基準にもとづく成績評価を実施する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
計画12-1	学習到達度の把握に努めるとともに、成績評価基準のガイドラインの作成等、適切な成績評価を実施する。		上記計画8-1で記述した実施状況のとおりである。

小項目番号	小項目9	小項目	[ウエイト]【学士課程・大学院共通】社会人のリカレント教育、リフレッシュ教育、生涯学習の視点に立ち、社会人の受け入れを推進する。また、歴史文化揺籃の地としての奈良の魅力を広く留学生に伝え、留学生の受け入れを推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	3 教育の実施体制等に関する目標		
-----	------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	教育研究の理念・目標に沿った教育組織を編制する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	良好な授業環境と自習環境の充実を図り、情報ネットワークを整備・活用する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
計画15-1	附属図書館による教育研究図書・資料等の系統的整備を行うとともに、資料のデータベース化の促進とWebによる検索利用機能の強化等、情報ネットワークを整備する。		平成20年度に学術情報研究センター情報システムの更新を行い、以下の改善をした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分専用の図書館ページである「My ポータル」を導入し、学生が共同利用パソコンから、「貸出・予約状況照会」や「文献複写・貸借依頼」等を行えるようにした。</li> <li>・ソフトウェア仮想化技術を導入し、すべての共同利用パソコンで、本学が所有するソフトウェアライセンスを利用できるようにした。</li> <li>・全プリンターをカラー印刷可能機種とした。</li> </ul>

小項目番号	小項目3	小項目	教育に関する点検・評価を実施し、当該評価結果のフィードバックを行い、教育の質の改善を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	4 学生への支援に関する目標		
-----	----------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	充実した生活環境の整備、学生の立場に立ってサポートする学習支援システムの整備を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	学生の多様な進路に対応する就職支援・就職指導を全学共通の重要課題と位置づけるとともに、教職員を含めた全学的な就職支援体制の充実を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1 研究水準及び研究の成果等に関する目標		
-----	----------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	学問的動向、社会的要請に応える学校教育と生涯学習に関する研究を進める。学校教育における日々の教育実践上の課題に対応できる研究を進める。地域の自然、歴史、文化、産業の特色を反映した個性ある研究を進める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
計画19-1	[ウエイト] 学問的な基礎に立脚し、時代の進展及び社会の変化に対応した研究を進め、特に以下の研究に関する質の高い研究に取り組む。教育理論、教育実践・教育臨床に関する研究、生涯学習・リカレント教育に関する研究、地域の自然、歴史、文化、産業に関する研究		本学は、日本の大学として初めてユネスコスクールに加盟し、ユネスコの提唱する「ESDを視野に入れた世界遺産教育」に力を入れている。その一環として、平成21年度に、文部科学省・奈良市教育委員会・奈良教育大学等主催による『世界遺産学習全国プレサミットinなら 奈良教育大学ユネスコ・スクール教育実践研究会』を本学において開催した。この研究会では、市立小学校児童による世界遺産学習の発表等が行われ、本学が奈良市教育委員会と連携して進めてきた世界遺産教育の理論的・実証的研究の実践の成果が示された。全国から集まった参加者は、約560名で、平成22年度に開催される全国サミットに向け、大きく弾みを付けるものとなった。 (本学ホームページURL <a href="http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/SOUMU/unesco_school20091223.html">http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/SOUMU/unesco_school20091223.html</a> )

小項目番号	小項目2	小項目	研究成果を地域の学校教育及び生涯教育の実践の充実と発展に資することを旨とする。地域の教育、文化、産業などの政策形成に活かす研究成果の社会への還元を意図する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画20-2	教育現場や社会での実践と応用により、研究の水準・成果を検証する。検証は自己による評価とともに、社会的効果・意義を外部評価を含めて実施する。		平成21年度に研究に関する外部評価を実施した。この評価対象は、第1期中期目標期間での学長裁量経費研究プロジェクトから選定された研究成果であった。各プロジェクトに関して、社会的効果・意義等の検証の結果、高い水準にあり、十分な成果を上げていると評価された。(本学ホームページURL <a href="http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/HYOUKA/kenkyu_gaibuhyouka/index.html">http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/HYOUKA/kenkyu_gaibuhyouka/index.html</a> )

中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標		
-----	--------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	研究組織の硬直化を避け活性化を図るため、教員の弾力的な配置を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	外部資金の獲得を推進するとともに、学内の研究資金の配分に評価結果を反映するシステムを整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	研究の活力を維持発展させるために、研究環境並びに研究体制を整備する。研究に係る情報ネットワークを整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画23-2	[ウエイト] 情報ネットワークの広帯域化に伴い、研究に関わる情報の受発信を推進する。		平成20年度に学術情報研究センター情報システムの更新を行い、以下の改善をした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルをメールに添付することなく第三者に送信できるダウンロードチケット機能を有する「大容量ファイル転送サービス」により、容量の大きな研究データでも安全に送受信できるようになった。</li> <li>・VPN接続方法の大幅な簡略化を行い、自宅等から学内情報へのアクセスをより安全に簡単に行えるようになった。</li> <li>・統合認証システムの導入により、教員データベース等のサービス利用が容易になった。</li> </ul>

小項目番号	小項目4	小項目	研究活動の評価体制を確立して研究組織・体制の弾力化を図る。全学的並びに個々の教員の研究の質の向上及び改善のための施策や取り組みについて、その達成度を適切に評価し、フィードバックするシステムを構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

## 3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1 社会との連携、国際交流等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	教育研究の成果を広く地域社会に発信するとともに、地域社会の学習及び教育に関する要請に応える。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目2	小項目	産官学連携の下での共同研究・学際的研究を進めるとともに、産官学連携のための支援システムを整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
計画26-3	奈良県大学連合加盟大学間で単位互換を促進するとともに、共同で公開講座を実施する。		単位互換の促進のため、参加学生向けに本学の特色ある互換科目の広報(ポスター、ホームページ)を充実するとともにメールによる互換科目の照会も可能とする改善を行った。また、本学からの派遣学生数を増やす方策としては、在学生への単位互換に係る募集掲示及びホームページの単位互換案内の充実、全学生へのメール通知などにより参加促進を図るとともに、単位互換希望学生への派遣先大学の案内や手続等の適切な情報提供に努めた。この結果、平成20年度、平成21年度には各1名ずつの学生を派遣することが出来た。
小項目番号	小項目3	小項目	留学生の交流、その他諸外国等との教育研究上の交流を促進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		

## Ⅱ. 「改善を要する点」についての改善状況

改善を要する点	改善状況
<p>【社会等】                      中期計画「奈良県大学連合加盟大学間で単位互換を促進するとともに、共同で公開講座を実施する。」について、単位互換協定による受入れ学生数が減少しているのに加え、奈良教育大学の学生の参加が無く、十分に進捗しているとはいえないことから、改善することが望まれる。</p>	<p>奈良県大学連合加盟大学間の単位互換の進捗に係る学生数の減少と本学からの参加学生が無い状況については、教育担当副学長を中心に教務委員会において、県内単位互換大学全体の状況と本学の受入れ・派遣状況（※別添資料26-3-1, 5p参照）をもとに次の検討・改善を行った。</p> <p>県内単位互換は、平成16年度は5大学、平成17年度から平成19年度は6大学の間で実施された。平成19年度には単位互換学生数が減少したが、平成20年度には新たに2大学の協定加盟によって単位互換学生数が増加した。本学では、平成16年度以降の6年間に全体の単位互換学生550名の25%にあたる136名の受入れを行ってきた経緯を踏まえて、参加学生向けに本学の特色ある互換科目の広報（ポスター、ホームページ）を充実するとともにメールによる互換科目の照会も可能とする改善を行った。</p> <p>また、本学からの派遣学生数を増やす方策としては、在学生への単位互換に係る募集掲示及びホームページの単位互換案内の充実、全学生へのメール通知などにより参加促進を図るとともに、単位互換希望学生への派遣先大学の案内や手続等の適切な情報提供に努めた。この結果、平成20年度、平成21年度には各1名ずつの学生の派遣が実現し、改善につなげることができた。</p>

【作成の際の留意事項】

- ・「教育」「研究」「社会等」等の大項目及び「『改善を要する点』についての改善状況」ごとに、エクセルシートを分けて作成してください。
- ・印刷する際には、A4横長・横書きで両面印刷（表紙・目次を除く）とし、冊子体にする際にホチキス留め等により本文が見えなくなるものがないようご留意願います。
- ・中央下（フッター）に「教育」「研究」「社会等」等の大項目及び「『改善を要する点』についての改善状況」を通じた頁番号を付けてください。